

2026 年第 9 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京 大会開催概要

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。 「2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム」では9競技を実施し、全国47地区組織が参加します。また、翌年2027年にチリ共和国で開催される世界大会への日本選手団選考を兼ねて開催します。

■ 大会名称: 2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京

略 称: スペシャルオリンピックス 2026 東京

■ 開催日程: 2026年6月5日金 - 7日田 ※ 屋外競技中心

2026年9月4日金-6日田 ※ 屋内競技中心

※ 会場調整中の為、日程が変更となる場合があります。

競技前日 : 会場設営・選手団入り

競技1日目: 競技予選(ディビジョニング)

競技 2 日目: 競技決勝 / 表彰

■ 開 催 地:東京都

■ 予定参加数: 47 都道府県の地区組織

- アスリート / 約 1,400 名 - 役員・コーチ / 約 1,100 名

- 大会役員・審判 / 約500名 - ボランティア / 延べ 約3,400名

- 観客 / 延べ 約 15,000 名

■ 実施競技/会場: 9競技

競技	会場(案)	日程(案)
バスケットボール(US)	TOYOTA ARENA TOKYO	'26年 6月5日金)- 7日(日)
バドミントン	BumB東京スポーツ文化館 - メインアリーナ	'26年 6月5日金)- 7日(日)
テニス	※ 調整中(江東区の施設を予定)	'26年 6月5日金)- 7日(日)
陸上競技	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 陸上競技場	'26年 6月5日金)- 7日(日)
サッカー	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 第二球技場	'26年 6月5日金)- 7日(日)
卓球	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 屋内球技場	'26年 6月5日金)- 7日(日)
フライングディスク	駒沢オリンピック公園総合運動場 - 補助競技場	'26年 6月5日金)- 7日(日)
バスケットボール(TR)	京王アリーナTOKYO - メインアリーナ	'26年 9月4日金)- 6日(日)
競泳	京王アリーナTOKYO - プール	'26年 9月4日金)- 6日(日)
ボウリング	東京ポートボウル	'26年 9月4日金)- 6日(日)
開会式	TOYOTA ARENA TOKYO	'26年 6月5日金
HAP	TOYOTA ARENA TOKYO - サブアリーナ	'26年 6月5日金

※ TR=トラディショナル US=ユニファイドスポーツ

■ 予定事業: 開会式、閉会式、ヘルシー・アスリート・プログラム(健康診断) 等

■ 主 催: 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本



■ スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックス日本(SON)は、知的障害のある人たちにスポーツトレーニングと、その成果 の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。 スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックス国際本部より国内本部組織として認証を 受け、日本国内での活動を推進しています。

■ スペシャルオリンピックスの特徴

ディビジョニング: スペシャルオリンピックスの競技会・大会では、可能な限り同程度の競技能力の

アスリート同士で競技できるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ 分け(ディビジョニング)を行います。このディビジョニングによって、能力を十分に

発揮できると考えています。

全員表彰: スペシャルオリンピックスの競技会・大会に参加した全てのアスリート(失格等を

> 除く)が表彰台に上がり、全てのアスリートに、メダルやリボンがかけられます。順 位だけでなく、競技場に立ち最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人に

かわらぬ栄誉が贈られます。

■ スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲーム過去大会一覧

開催年	開催地	競技数	参加地区数	参加者数
1995 年	熊本	5 競技		アスリート 137 名/コーチ他 64 名
1996 年	宮城	1 競技		アスリート 34 名/コーチ他 17 名
1990 +	福岡	2 競技		アスリート 45 名/コーチ他 21 名
1998 年	神奈川	8 競技		アスリート 194 名/コーチ他 134 名
2000年	長野	3 競技		アスリート 121 名/コーチ他 81 名
2002 年	東京	11 競技	21 地区/2 設準 ※海外 4 ヵ国	アスリート 816 名/コーチ他 546 名
2004 年	長野	7 競技		アスリート 620 名/コーチ他 393 名
2006 年	熊本	12 競技	32 地区/8 設準	アスリート 1016 名/コーチ他 560 名
2008 年	山形	7 競技	29 地区/3 設準	アスリート 533 名/コーチ他 330 名
2010年	大阪	12 競技	38 地区/8 設準	アスリート 1042 名/コーチ他 591 名
2012 年	福島	7 競技	31 地区/2 設準	アスリート 574 名/コーチ他 320 名
2014 年	福岡	12 競技	42 地区/5 設準	アスリート 975 名/コーチ他 593 名
2016 年	新潟	7 競技	31 地区	アスリート 614 名/コーチ他 329 名
2018 年	愛知	13 競技	47 地区	アスリート 996 名/コーチ他 606
2020 年	北海道	7 競技	37 地区	アスリート 616 名/コーチ他 341 名 ※中止
2022 年	広島	12 競技	47 地区	アスリート 787 名/パートナー39 名/コーチ他 482 名
2024 年	長野 北海道	8 競技	33 地区	アスリート 474 名/パートナー26 名/コーチ他 286 名

※設準…設立準備委員会のこと ※2020 年大会は新型コロナウィルスの影響により中止

■ スペシャルオリンピックス日本 パートナー企業・団体

























